



受動態は能動態の目的語を主語にしてできたものですから、目的語が存在しない「第1文型 (S + V (+副詞))」と「第2文型 (S + V + C)」の動詞は受動態にできません。例えば、以下の×は間違った受動態です。

Clinton became President in 1993.

S                      V                      C

× President was become by Clinton in 1993.

受動態が作れるのは目的語が存在する第3文型 (S+V+O)、第4文型 (S+V+O'+O)、第5文型 (S+V+O+C) の動詞 (つまり「他動詞」か「前置詞を含む動詞句」) です。次の例文②と③は、元の能動態が第3文型なので正しい英文です。

They collect garbage twice a week. → 彼ら (=ゴミ収集者) は

S                      Vt                      O

週に2回ゴミを集める。

② Garbage is collected twice a week.

⇒ ゴミは集められる・2回・1週間に。

→ ゴミは週に2回収集されます。

They raised Pat overseas until the age of 12.

S                      Vt                      O

→ 彼らは Pat を 12 歳まで  
海外で育てた。

③ Pat was raised overseas until the age of 12.

⇒ Pat は育てられた・海外で・まですつと・年齢・12の。

→ Pat は 12 歳まで海外で育った。

②と③の受動態では、「…によって」に当たる by them が省略されていますが、**受動態の大半は「by …」がない形です。**「by …」が示されないのは、それが自明なので示す必要がなかったり (例文②)、わからないので示せなかったり (例文③)、わかっていてあえて示したくない場合に受動態がよく用いられるからです。また、受動態は、それを行う人や物ではなく、「それをされる人や物」を話題の中心にした表現です。②の受動態は Garbage が、③の受動態は Pat が話題の中心です。次の「能動態」は、A motorcycle を話題の中心にした場合で、Bill を話題の中心にする場合は④の「受動態」にします。

A motorcycle nearly hit Bill on his way home.

S Vt O

→彼の帰宅途中に、バイクがもう少しで Bill に追突するところだった。

④ Bill was nearly hit by a motorcycle on his way home.

- ⇒ Bill はあと少しで追突されるところだった・バイクによって・彼の道中で・自宅への。  
→ Bill は帰宅途中にバイクにはねられそうになった。

また、次の例では、Her novel を話題の中心（主語）にして文を始めているので、and の後も話題の中心を変えない方が話の流れがスムーズです。つまり、最初の能動態よりも、⑤の受動態の方が自然な英語です。

Her novel became a bestseller and they made it into a film.

S Vt O

⑤ Her novel became a bestseller and was made into a film.

- ⇒彼女の小説はなった・ベストセラーに・そして・された・映画になるように。  
→彼女の小説はベストセラーになり、そして映画化された。  
\* and と was の間には既出の主語 it (= Her novel) が省略されています。

Ch.  
6

●● VOCABULARY

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> favorite [f'eivərɪt]      | 形 最も好きな [名] 最も好きなもの [人]                                      |
| <input type="checkbox"/> goldfish [g'ɔ:ldfɪʃ]      | [名] 金魚   |
| <input type="checkbox"/> garbage [gɑ:'rɒbɪʃ]       | [名] ごみ、がらくた、廃物   |
| <input type="checkbox"/> collect [kə'lekt]         | [動] <同じ種類のもの>を集める、…を収集する、<br>…を徴収する ([名] collection 収集(物))   |
| <input type="checkbox"/> raise [reɪz]              | [動] …を育てる、…を上げる ([同] bring … up)                             |
| <input type="checkbox"/> overseas                  | [副] [əu'veəri:z] 海外[外国]で、海外[外国]へ<br>[形] [əu'veəri:z] 海外[外国]の |
| <input type="checkbox"/> until [ən'tɪl]            | [前] …までずっと [接] …までずっと  |
| <input type="checkbox"/> hit                       | [動] …を叩く、…に衝突 [追突] する  |
| <input type="checkbox"/> motorcycle [m'əʊtə'saɪkl] | [名] オートバイ ([同] motorbike [m'əʊtə'bàik])                      |
| <input type="checkbox"/> on one's way home         | [副] 帰宅途中で ([同] on the way home)                              |
| <input type="checkbox"/> novel [n'ɒvəl] n'ɒv-]     | [名] 小説 [形] 目新しい、斬新な  |
| <input type="checkbox"/> make … into ~             | [動] …を~に作り変える (*この受動態は例文⑤)                                   |
| <input type="checkbox"/> film [fɪlm]               | [名] 映画 ([同] ((主に米) movie)                                    |

# Lesson 56

## 👉 動詞句の受動態

talk about (…について話す) や look after (…の世話をする) のような「前置詞で終わる動詞句」は第3文型の他動詞と同様に扱われるので (Lesson 38 ⑦の前の説明)、動詞を過去分詞に変えることで受動態が作れます。

Mike, pull up your zipper, or people will laugh at you.

① Mike, pull up your zipper, or you'll be laughed at.

⇒ Mike・引き上げなさい・君のチャックを・でないと・君は(後で)笑われる。

→ Mike, きちんとチャックを閉めておかないと笑われるぞ。

\* 助動詞('ll) の後ろは動詞の原形を置くので受動態は「be 過去分詞」にします。

\* 受動態で at を付け忘れないように注意しましょう。

このタイプの動詞句には次のようなものがあります。

**break into** (…に押し入る)

**care for** (…を大事にする)

**laugh at** (…を笑う)

**look after** (…の世話をする)

**look up to** (…を尊敬する)

**speak to** (…に話しかける)

**take care of** (…の世話をする)

**talk about** (…について話す)

2つ例を見てみましょう。

Someone broke into my place the other night.

② My place was broken into the other night.

⇒ 私の住む所が押し入られた・先日の夜に。

→ 先日の夜、家に空き巣が入ったのです。

They looked after and cared for Max properly.

③ Max was properly looked after and cared for.

⇒ Max は適切に世話をされていた・そして・大事にされて (いた)。

→ Max はきちんと世話され、大事にされていた。

\* 過去分詞を修飾する副詞 (ここでは properly) は過去分詞の「前」に置くのが一般的です。

## ●● NOTE 受動態にできない動詞(句)

他動詞や前置詞を含む動詞句の全てが受動態にできるわけではありません。一般に、受動態は「主語が by 以下の行為によって影響や変化を受ける」場合に用います。ですから、次のような受動態は不自然です。

- ✗ I am resembled by my sister. (私は妹に似られている)
- ✗ Two brothers are had by Bob. (2人の兄弟が Bob にもたれている)
- ✗ Sydney is lived in by my son. (シドニーは私の息子に住まれている)

Ch.  
6

## ●● VOCABULARY

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 命令文, or ~ .                 | 慣 …しなさい, そうしないと。(慣 命令文, and ~ …しなさい, そうすれば~)          |
| <input type="checkbox"/> pull ... up                 | 動 …を引っ張り上げる (反 pull ... down …を引き下げる)                 |
| <input type="checkbox"/> zipper [zɪpə]               | 名 ジッパー、チャック、ファスナー                                     |
| <input type="checkbox"/> laugh at ... [læf   lɑ:f]   | 動 …を笑う  |
| <input type="checkbox"/> one's place                 | 名 …の住む場所、…の自宅   |
| <input type="checkbox"/> break into ... [brɛɪk]      | 動 …に押し入る [不法侵入する、割り込む]                                |
| <input type="checkbox"/> the other night             | 副 先日 [この間] の夜に (*前置詞を付けない)                            |
| <input type="checkbox"/> properly [prɒpərlɪ   prɒp-] | 副 適切に、きちんと (形 proper 適切な *一般に副詞は形容詞に -ly を付けて作ることが多い) |
| <input type="checkbox"/> look after ...              | 動 …の世話をする、…の面倒を見る、…に気を配る、…を管理する                       |
| <input type="checkbox"/> care for ... [kɛə]          | 動 …を大事にする、…を可愛がる                                      |

# Lesson 57

## by 以外の前置詞を用いる受動態 (1)

受動態の基本形は「be 動詞+過去分詞 (Vp.p.) + by …」ですが、次の例文では、「by …」ではなく「in …」が使われています。その理由を考えてみましょう。

### ① Cathy is very interested in political and social issues.

⇒ Cathy はとても興味がある・政治的なそして社会的な問題に。

→ Cathy は政治問題や社会問題に強い関心がある。

\* political は social と共に issues を修飾しています。

interested は元々、他動詞 interest (…の興味を引く) の過去分詞ですが、「興味を引かれている」という受身の意味が薄れて、「興味がある」という能動的な意味になった「形容詞」です。ですから、「by …」(…によって)ではなく、「興味が…の中にある」ということで「in …」と結びつきます。

同様に、他動詞 satisfy (…を満足させる) の過去分詞 satisfied も、「満足させられている」ではなく「満足している」という能動的な「形容詞」なので、「by …」よりも「…に対して」という意味の「with …」の方がしっくりきます。

### ② Nick was completely satisfied with the outcome.

⇒ Nick は完全に満足していた・その結果に。

→ Nick はその結果に 100% 満足していた。

また、他動詞 disappoint (…をがっかりさせる) の過去分詞 disappointed は、「がっかりさせられる」という「受身」の意味で用いる場合は by と結びつきますが、「がっかりしている」という「形容詞」で用いる場合は、at (…に対して)、about (…について)、with (…に対して) などと結びつきます。

### ③ Cindy is disappointed at Mike's grades this semester.

⇒ Cindy はがっかりしている・Mike の成績に・今学期の。

→ Cindy は Mike の今学期の成績にがっかりしている。

\* this semester は grades を修飾。this semester (今学期に) は副詞句ですが、時を表す他の副詞(句) today, tomorrow, yesterday, last night, these days (近頃) などと同様、名詞の直後に置く場合に限り、形容詞的に名詞を修飾します。

このように、過去分詞が「形容詞」になって by 以外の前置詞と結びつくのは、次のような「感情」や「心理」を表すことばです（但し、「…させられる」という受け身の意味で用いる場合は by を用います）。

be <b>interested</b> in ...	(…に興味がある)
be <b>scared</b> of ...	(…をこわがっている)
be <b>bored</b> with [of] ...	(…に退屈している)
be <b>amused</b> at ... *	(…をおもしろがっている)
be <b>shocked</b> at ... *	(…にショックを受けている)
be <b>surprised</b> at ... *	(…に驚いている)
be <b>satisfied</b> with ... *	(…に満足している)
be <b>pleased</b> with [at, about] ... *	(…に満足している)
be <b>disappointed</b> at [about, with, in] ... *	(…にがっかりしている)

(注) \*印の表現は「される」という受け身の意味で用いる場合は by と結びつきます。

#### ●● NOTE 自動詞の過去分詞が形容詞になる場合

感情や心理を表すことば以外にも過去分詞が「**形容詞**」になるものがあります。よく用いられるのは、gone ((行ってしまって) いない)、finished ((行為を) 終えている)、done ((行為を) 終えている)、fallen (落ちて [倒れて] しまっている) などです。これらは**自動詞の過去分詞**が形容詞化したもので、「have [had] + 過去分詞」がもつ「**結果**」「**完了**」の意味を帯びています。

#### ④ "How long will you be gone?" "A week at most."

⇒「どのくらいの間・(未来に)あなたは行ってしまっていますか?」「1週間・最大で」  
→「向こうにはどのくらい行っているのですか?」「せいぜい1週間だね」

#### ⑤ "Are you finished?" "Yeah, I'm done."

⇒「君は終わっていますか?」「はい・私は終わっています」  
→「もう終わったのかい?」「うん、終わったよ」  
\* テレビを見終わった [食事を終えた、作業を終えた] などの状況を述べた文です。  
\* この be finished と be done は通常の受身でも用います。例えば、The work was finished [done] on time. なら「作業は時間通りに終わられた」になります。

●● VOCABULARY

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> <b>political</b> [pə'litikəl]  | 形 政治の、政治的な (名 <b>politics</b> [pə'litiks] 政治) |
| <input type="checkbox"/> <b>social</b> [səʊʃəl]         | 形 社会の、社会的な (名 <b>society</b> [sə'saɪəti] 社会)  |
| <input type="checkbox"/> <b>issue</b> [ɪʃu:]            | 名 (社会や政治などの) 問題、論点、争点、<br>(新聞・書籍などの) 発行、…号    |
| <input type="checkbox"/> <b>completely</b> [kəmpli:tli] | 副 完全に、全く (形 <b>complete</b> 完全な)              |
| <input type="checkbox"/> <b>outcome</b> [aʊtkʌm]        | 名 結果、結末                                       |
| <input type="checkbox"/> <b>grade</b> [ɡreɪd]           | 名 成績の評点、等級、グレード、学年                            |
| <input type="checkbox"/> <b>semester</b> [sɪməstər]     | 名 (2学期制の) 学期                                  |
| <input type="checkbox"/> <b>gone</b> [ɡɔ:n]             | 形 もう行ってしまった、(い)なくなっている                        |
| <input type="checkbox"/> <b>at (the) most</b> [məʊst]   | 副 最大で、多くても (反 <b>at least</b> 少なくとも)          |
| <input type="checkbox"/> <b>finished</b> [fɪnɪʃt]       | 形 (行為・作業を) 終えている                              |
| <input type="checkbox"/> <b>done</b> [dʌn]              | 形 (行為・作業を) 終えている                              |

"How long will you be gone? A week at most."

"Are you finished? Yeah, I'm done."



# Lesson 58

## by 以外の前置詞を用いる受動態（2）

前のレッスンでは過去分詞の形をした「形容詞」が by 以外の前置詞と結びつく例を紹介しましたが、通常受動態でも by 以外の前置詞と結びつく場合があります。次の3つの例文を、前置詞の意味に注意して読んでください。

### ① All our goods are made by domestic manufacturers.

- ⇒ 全て・我々の商品の・は作られている・国内の製造業者によって。
- 我々の商品は全て国内の製造業者が作っています。

### ② This oil is made from sesame seeds.

- ⇒ この油は作られている・ごまの種から。
- この油はごまの種からできているんだよ。

### ③ The entire floor is made of marble.

- ⇒ 全体のフロアが作られている・大理石で。
- フロア全体が大理石でできております。

①の「国内の製造業者」は「作る」の「行い手」ですから通常通り **by** で表しますが、②の「ごまの種」、③の「大理石」は「行い手」ではなく、それぞれ「原料」と「材料」を表しています。よって、**by** では表せません。「原料」（原形をとどめていないと感じられるもの）は **from** で、「材料」（原形をとどめていて感じられるもの）は **of** で表します。

また、「渋滞につかまる」とか「にわか雨につかまる」と言う場合は、「渋滞 [にわか雨] の中に入っている」と考えるので、**in** を用います（**by** は「人」に捕まる [見つかる]」という場合に用います）。

### ④ Mr. Sato was caught in traffic on the way to work.

- ⇒ Sato さんはつかまえられていた・車の流れの中に・途中で・職場への。
- Sato さんは仕事に行く途中で渋滞につかまっていた。

このように、**by** 以外の前置詞を用いる受動態には、次のようなものがあります。

be <b>caught in</b> ...	(〈渋滞・雨など〉につかまっている)
be <b>covered with [by, in]</b> ...	(…で覆われている)
be <b>filled with</b> ...	(…で満たされている)
be <b>crowded with</b> ...	(…で混んでいる)
be <b>known to [by]</b> ...	(…に知られている)
be <b>made of</b> ...	(〈材料・部品〉でできている)
be <b>made from</b> ...	(〈原料〉から作られている)
be <b>made into</b> ...	(…に作り変えられる)

表の中から2つ例を見てみましょう。

⑤ **The sidewalk was covered with fallen leaves.**

⇒ 歩道は覆われていた・落ちてしまっている葉で。

→ 歩道は落ち葉で覆われていた。

\* with を by もしくは in にすることもできます。

⑥ **Bob was known to the police for his anti-social behavior.**

⇒ Bob は知られていた・警察に・が理由で・彼の反社会的な行動。

→ Bob は反社会的な行動で警察に知られていた。

\* to を by にすることもできます。

●● VOCABULARY

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> <b>goods</b> [gʊdz]                    | <input type="checkbox"/> 名 商品、品物  |
| <input type="checkbox"/> <b>domestic</b> [dəˈmɛstɪk]            | <input type="checkbox"/> 形 国内の、国産の、家庭内の、家庭的な  |
| <input type="checkbox"/> <b>manufacturer</b><br>[ˌmænɪfʌktʃərə] | <input type="checkbox"/> 名 製造業者、メーカー (動 <b>manufacture</b> …を製造する)                  |
| <input type="checkbox"/> <b>sesame</b> [səˈsæmi]                | <input type="checkbox"/> 名 胡麻 (罌)   |
| <input type="checkbox"/> <b>seed</b> [si:d]                     | <input type="checkbox"/> 名 種子、種 (畵)   |
| <input type="checkbox"/> <b>entire</b> [ɪnˈtɪə]                 | <input type="checkbox"/> 形 全体の、…全体 (同 <b>whole</b> [həʊl])                          |
| <input type="checkbox"/> <b>floor</b> [flɔ:]                    | <input type="checkbox"/> 名 床、床面、階   |
| <input type="checkbox"/> <b>marble</b> [ˈmɑ:bl]                 | <input type="checkbox"/> 名 大理石、ビー玉、おはじき   |
| <input type="checkbox"/> <b>traffic</b> [ˈtræfɪk]               | <input type="checkbox"/> 名 乗り物の往来、交通、通行 <input type="checkbox"/> 形 交通の              |
| <input type="checkbox"/> <b>on the [one's] way to …</b>         | <input type="checkbox"/> 副 …へ行く途中で (*「…」が副詞の here, there, home (自宅へ) の場合は to を省略する) |
| <input type="checkbox"/> <b>sidewalk</b> [ˈsaɪdwɔ:k]            | <input type="checkbox"/> 名 ((米)) 歩道 (同 ((英)) <b>pavement</b> [ˈpeɪvmənt])           |
| <input type="checkbox"/> <b>fallen</b> [ˈfɔ:lən]                | <input type="checkbox"/> 形 落ちた、落下した、倒れた (* Lesson 57 [NOTE])                        |
| <input type="checkbox"/> <b>(the) police</b> [pəˈli:s]          | <input type="checkbox"/> 名 警察 (* 複数形の名詞)  |
| <input type="checkbox"/> <b>anti(-)</b> [æntɪ-, -tɪ]            | <input type="checkbox"/> 頭 反…、抗… (* <b>antiwar</b> 反戦の)                             |
| <input type="checkbox"/> <b>behavior</b> [ˌbɪhævjər]            | <input type="checkbox"/> 名 (習慣的な) 行動、振る舞い   |

# Lesson 59

## 受動態で用いられる get と become

「be 動詞+過去分詞」の受動態は「…されている」という「状態」と「…される」という「動作」の両方を表しますが（どちらかは主として文脈から判断します）、「動作」の意味では、be 動詞の代わりに **get** や **become** を用いることがあります。get はくだけた言い方で、「(予期せぬ) 好ましくないこと」によく用いられます。

### ① They got caught in a shower and took shelter in a nearby café.

⇒ 彼らはなった・つかまった (状態に) ・にわか雨の中に・そして・とった・避難を・近くのカフェの中に。

→ 彼らにはわか雨に遭い、近くのカフェで雨宿りをした。

### ② This bar gets crowded at night with locals and tourists alike.

⇒ このバーはなる・混んだ (状態に) ・夜に・伴って・地元の人達と観光客達の両方を。

→ このバーは夜になると地元の人と観光客で混雑します。

\* crowded と共に with … が用いられている点にも注意 (Lesson 58 の表を参照)。

become は文語的で、主に Lesson 57 の表の形容詞や known と共に用います。

### ③ After the incident, Bob became known as a troublemaker.

⇒ 事件後・Bob はなった・知られている (状態に) ・トラブルメーカーとして。

→ 事件後、Bob はトラブルメーカーとして知られるようになった。

\* was known だと「(既に) 知られていた」になるので、「知られるようになった」とするには became を用いる必要があります。

## VOCABULARY

- shower** [ˈʃaʊə]
  - [名] にわか雨、夕立、シャワー
- take shelter** [ˈteɪk ʃeltə]
  - [動] 物陰に隠れる、避難する ([名] **shelter** 避難 (場所))
- nearby** [niəˈbaɪ]
  - [形] すぐ近くの [副] すぐ近くに ([反] **distant** [ˈdɪstənt] 遠くの)
- café** [ˈkæfeɪ] [kæfeɪ]
  - [名] カフェ、喫茶店
- crowded** [ˈkraʊdɪd]
  - [形] 混雑した、混み合った、密集した
- at night**
  - [副] 夜に、夜間に (\*「夜寝ている間に(不意に何かが起こる)」という場合は **in the night** を用いる)
- local** [ləʊkəl]
  - [名] 地元 [現地] の人 [形] 地元 [現地] の
- ... **and ~ alike** [əˈlaɪk]
  - [慣] ...と~も同じく、...と~の両方 ([同] **both...and~**)
- tourist** [ˈtʊərɪst]
  - [名] 観光客、観光旅行者 ([名] **tourism** [ˈtʊərɪzəm] 観光)
- incident** [ɪnˈsɪdənt]
  - [名] 事件、(問題のある) 出来事
- be known as** ...
  - [動] ...として知られている、...という呼び名で通っている、通称...である (\*例文③は状態動詞 (R11) の **be** を動作動詞の **become** に変えたもの)
- troublemaker**
  - [名] **[tráblmèikə]** トラブルメーカー、問題ばかり起こす人、問題児

Ch.  
6

### 例文に登場する主なキャラクター (14)



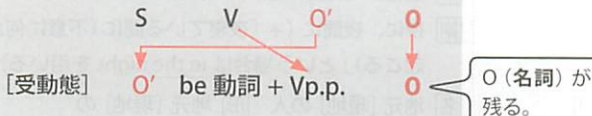
**Bob (Robert)**  
 Joe の高校時代からの親友。不祥事で高校を退学。トラブルメーカーで転職を繰り返す。

# Lesson 60

## 👉 第4文型 / 第5文型の受動態：補語が名詞の場合

次は、第4文型 (SVO'O) と第5文型 (SVOC) の受動態です。「第4文型」では、O' (間接目的語) が受動態の主語になり、**過去分詞 (Vp.p.) の後ろに O (直接目的語) が残ります。**

### 【第4文型】



次の3つの例文で確認しましょう。**過去分詞の後ろに O が残っている点**に注意してください。

S gave Pat a leather purse → S は Pat に革のポシェットを与えた。

① Pat was given a leather purse for her birthday.

⇒ Pat は与えられた・革のポシェットを・彼女の誕生日のために。

→ Pat は誕生日に革のポシェットをもらった。

\* for her birthday は「彼女の誕生日を祝うために」という意味です。

S told Mike the truth → S は Mike に真実を話した

② At age ten, Mike was told the truth about Santa Claus.

⇒ 10歳で・Mike は話された・真実を・サンタクロースについての。

→ Mike は10歳の時にサンタクロースについて本当のことを聞かされた。

S offered Mr. Lee a position → S は Lee さんにポストを申し出た。

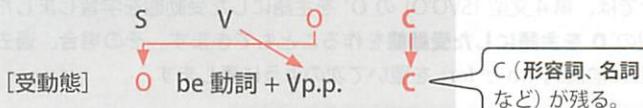
③ Mr. Lee was offered a position at the Malaysian branch.

⇒ Leeさんは申し出られた・ポストを・マレーシア支店での。

→ Leeさんはマレーシア支店のポストを持ちかけられた。

次は、「第5文型」の受動態です。この場合は、**過去分詞 (Vp.p.) の後ろに補語 (C) の「形容詞」や「名詞」が残ります。**

【第5文型】



次の④と⑤では第5文型のO(目的語)が受動態の主語になり、**過去分詞の後ろに「補語」に当たる「名詞」が残っています。**

S named it Evans Ltd → Sはそれを Evans 社と命名した



④ It was named Evans Ltd. after its founder, Thomas Evans.

⇒ それは命名された・Evans 社と・の後を取って・その創業者・Thomas Evans.

→ それは創業者 Thomas Evans にちなんで Evans 社と命名された。

\* its は主語 It の所有格です。its founder と Thomas Evans は同格 (Lesson 109) の関係にあります。

... call Pat Ms. Lee rather than Mrs. Lee → Pat を Mrs. Lee ではなく Ms. Lee と呼ぶ



⑤ Pat prefers to be called Ms. Lee rather than Mrs. Lee.

⇒ Pat はより好む・呼ばれることを・Ms. Lee と・よりも・Mrs. Lee.

→ Pat は Mrs. Lee よりも Ms. Lee と呼ばれることを好む。

\* to の後ろは動詞の原形を置くので受動態は「be 過去分詞」になります。

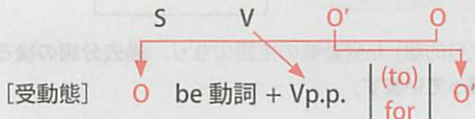
このような、「過去分詞の後ろに名詞が残る受動態」は、**動詞が「第4文型」か「第5文型」の場合**だけです。次の例文の steal は、第4文型で「steal O' O」(O' から O を盗む) という使い方ができません。ですから、「O' is stolen O」 という「過去分詞の後ろに名詞(O)が残る受動態」が作れません。

× S stole Mike his bicycle

× Mike was stolen his bicycle.

### ● NOTE 第4文型のもう一つの受動態

このレッスンでは、第4文型(SVO'O)のO'を主語にした受動態を学習しましたが、第4文型のOを主語にした受動態を作ることができます。その場合、過去分詞とO'の間に前置詞(toかfor)を置いて次のように表します。



(注) give, lend, pass, pay, sellなどの過去分詞は前置詞をtoに、buy, call, choose, find, makeなどの過去分詞はforにします(この区別はLesson 41の2つの表を参照)。

(注) 「to O'」のO'がme, us, you, him, her, them, itなどの「代名詞」の場合はtoを省略することがあります(例: This was sent (to) me by Betty.)。

S sold a local developer Bill's mansion → Sは地元の開発業者に  
Billの大邸宅を売った



#### ⑥ Bill's mansion was sold to a local developer.

⇒ Billの大邸宅は売られた・地元の開発業者に。

→ Billの大邸宅は地元の開発業者に売り渡された。

\* これは、S sold Bill's mansion to a local developerの目的語(下線部)を主語にした受動態とも考えられます。



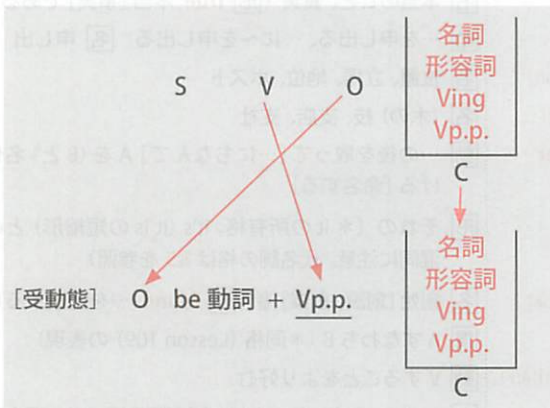
●● VOCABULARY

- leather** [lɛðər] [名] 革、革製品 [形] 革の、革製の
- purse** [pɜːrs] [名] ((米)) ポシェット、ハンドバッグ
- at age** ... [副] ...歳の時に ([同] **at the age of** ...)
- truth** [truːθ] [名] 本当のこと、真実 ([形] **true** 本当 [事実] である)
- offer** [ɔːfər] [動] ...を申し出る、...に～を申し出る [名] 申し出
- position** [pəzɪʃən] [名] 位置、立場、地位、ポスト
- branch** [bræntʃ] [名] (木の) 枝、支店、支社
- name A (B) after** ... [動] ...の後を取って[...にちなんで] Aを(Bと)名付ける [命名する]
- its** [ɪts] [形] それの (\* it の所有格。it's (it is) の短縮形) との混同に注意。代名詞の格は **R5** を参照
- founder** [faʊndər] [名] 創始 [創設、創業] 者 ([動] **found** ...を創設する)
- A, B** [價] A すなわち B (\* 同格 (Lesson 109) の表現)
- prefer to Vb** [prɪfəːr] [動] V することをより好む
- Ms.** [mɪz] [名] ...さん、...様 (\* 女性の未婚既婚が不明な場合や既婚未婚の区別を避けたい場合に用いる)
- rather than**  
[ˈræðər ˈrɑːðən] [前] ...よりも、...ではなく ([同] **instead of**)
- Mrs.** [mɪsɪz, mɪz- | mɪs-] [名] ...さん、...様 (\* 既婚女性への敬称)
- mansion** [mænʃən] [名] 大邸宅、屋敷 (\* 日本語の「マンション」に当たる語は apartment や condominium)
- local** [ləʊkəl] [形] 地元の、その土地の、地方の、各駅停車 [鈍行] の
- developer**  
[dɪvələpər] [名] 住宅 [造成] 開発業者、デベロッパー、ソフトの開発者 ([動] **develop** ...を開発する)

# Lesson 61

## 👉 第5文型の受動態：補語が形容詞などの場合

第5文型の補語(C)が「形容詞」「名詞」「Ving(現在分詞)」「Vp.p.(過去分詞)」の場合の受動態は次のようになります。



(注) interesting (興味深い) や interested (興味がある) のような Ving、Vp.p. はこの表の「形容詞」に属します。

補語(C)が「名詞」の受動態は前のレッスンで学習したので、このレッスンでは、補語が「形容詞」「Ving」「Vp.p.」の受動態を学習します。**過去分詞の後ろに「形容詞」「Ving」「Vp.p.」が残る受動態は「第5文型の動詞」であるという点に注意して、次の例文を読んでください。**

private contributions make our activities possible → 民間の寄付金が我々の活動を可能にしている

① Our activities are made possible by private contributions.

⇒ 我々の活動はされている・可能に・民間の寄付金によって。

→ 我々の活動は民間の寄付金によって可能になっています。

S keep the warehouse clean and organized → Sは倉庫を清潔で整頓された状態に保っている  
 Vt O C1 C2

② The warehouse is kept clean and organized at all times.

- ⇒ 倉庫は保たれている・きれいな・そして・整頓された(状態に)・全ての時において。  
 → 倉庫は常にきれいで整頓された状態にされている。

S left his bike unlocked and leaning → Sは彼の自転車を 鍵が掛けられずもたれかかった状態で 放置した  
 Vt O C1 C2

③ His bike was left unlocked and leaning against a fence.

- ⇒ 彼の自転車は放置されていた・鍵が掛けられず・そして・もたれかかっている(状態で)・フェンスに対して。  
 → 彼の自転車は鍵も掛けられずにフェンスに立てかけられていた。

S caught Joe cheating → SはJoeがカンニングをしているのを見つけた  
 Vt O C

④ Joe was caught cheating on an exam in his freshman year.

- ⇒ Joeは見つけられた・不正をしているのを・試験で・彼の(大学)1年生の年に。  
 → Joeは大学1年生の時に試験でカンニングをしているのを見つけた。  
 \* was caught を got caught にすることもできます (Lesson 59)。see も補語に Ving をとれるので、この文を Joe was seen cheating ... とすることも可能ですが、「こっそりしているのを見つかる」という意味合いは失われます。

次のレッスンでは、第5文型の補語が「to 動詞の原形」及び「動詞の原形」の受動態を確認します。

●● VOCABULARY

- activity** [æktɪvəti]      〔名〕 活動、活気、活力 (〔形〕 **active** [æktɪv] 活動的な)  
 **possible** [pɒsəbl | pɒs-]      〔形〕 可能な、可能性がある、起こり得る

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> <b>private</b> [praɪvɪt]                      | <input type="checkbox"/> 形 個人の、個人的な、私的な、民間の、民営の   |
| <input type="checkbox"/> <b>contribution</b><br>[kɒntrɪbjʊ:ʃən   kɒn-] | <input type="checkbox"/> 名 貢献、寄与、寄稿、寄付金 (動 <b>contribute</b><br>[kɒntrɪbjʊ:t] 貢献 [寄与、寄稿、寄付] する) |
| <input type="checkbox"/> <b>warehouse</b> [weərhɑ:ʊs]                  | <input type="checkbox"/> 名 倉庫、商品保管所   |
| <input type="checkbox"/> <b>clean</b> [kli:n]                          | <input type="checkbox"/> 形 きれいな、汚れていない、掃除された<br><input type="checkbox"/> 動 …をきれいにする、…を掃除する      |
| <input type="checkbox"/> <b>organize</b> [ɔ:rgənaɪz]                   | <input type="checkbox"/> 動 …を組織する、…を整理 [整頓] する  |
| <input type="checkbox"/> <b>at all times</b>                           | <input type="checkbox"/> 副 常に、いつでも (同 <b>always</b> )   |
| <input type="checkbox"/> <b>unlock</b> [ʌnlɒk   -lɒk]                  | <input type="checkbox"/> 動 …を解錠する、…の鍵を開ける   |
| <input type="checkbox"/> <b>lean</b> [li:n]                            | <input type="checkbox"/> 動 傾く、もたれる  |
| <input type="checkbox"/> <b>against</b> [əɡeɪnst, əgeɪnst]             | <input type="checkbox"/> 前 …に対して (圧力がかかるように)  |
| <input type="checkbox"/> <b>catch</b> … Ving                           | <input type="checkbox"/> 動 …が (こっそり) Vしているのを見つける  |
| <input type="checkbox"/> <b>cheat</b> [tʃi:t]                          | <input type="checkbox"/> 動 不正をする、カンニングをする、浮気をする   |
| <input type="checkbox"/> <b>exam</b> [ɪgzæm]                           | <input type="checkbox"/> 名 試験、テスト、検査 (* examination の略)   |
| <input type="checkbox"/> <b>freshman</b> [frɛʃmən]                     | <input type="checkbox"/> 名 ((米)) (大学・4年制高校の) 1年生、新人   |

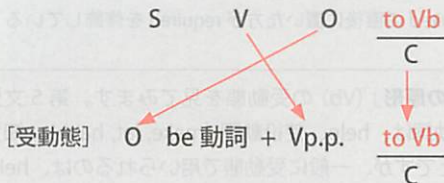
Joe was caught cheating on an exam in his freshman year.

Joeは freshman (米) 1年生の時に、試験でカンニングをして、試験中に caught (catch) された。Joeは freshman (米) 1年生の時に試験でカンニングをして、試験中に caught (catch) された。

# Lesson 62

## 👍 第5文型の受動態：補語が (to) 不定詞の場合

補語が「**to 動詞の原形**」(to Vb) の第5文型 (Lesson 49, 50) を受動態に変えると、次のようになります。例文と合わせて確認してください。



S asked the mayor to resign → Sは市長に辞任するように頼んだ

Vt                      O                      C

### ① The mayor was asked to resign, yet he refused.

- ⇒ 市長は頼まれた・辞任するように・しかし・彼は拒否した。  
 → 市長は辞任を求められたが拒否をした。

S told them to watch out for ... → Sは彼らに気をつけるようにと言った

Vt                      O                      C

### ② They were told to watch out for pickpockets and thieves.

- ⇒ 彼らは言われた・気をつけるように・に対して・スリと泥棒。  
 → 彼らはスリと泥棒に気をつけるように言われた。

S allow no vehicles to park → Sは無の乗り物が駐車するのを許す

Vt                      O                      C

### ③ No vehicles are allowed to park in this area.

- ⇒ 無の乗り物が許されている・駐車するのを・この区域において。  
 → この区域では乗り物の駐車は許可されていません。

law requires you to obey ... → 法律はあなたが従うことを要求する

S      Vt      O      C

④ Andy, you are required by law to obey the speed limit.

⇒ Andy・あなたは要求されている・法律によって・従うことを・速度制限に。

→ Andy、制限速度を守るとは法律で義務づけられているのよ。

\* by law は文末ではなく required の直後に置いた方が required を修飾していることがわかりやすい。

次は、第5文型の補語が「動詞の原形」(Vb)の受動態を見てみます。第5文型で補語に「動詞の原形」をとる動詞は、help、使役動詞 (make, let, have)、知覚動詞 (see, watch, hear, feel) などですが、一般に受動態で用いられるのは、help, make, see, hear です。これらの受動態は、**過去分詞の後ろ**を「動詞の原形」ではなく「**to 動詞の原形**」にします。to の付け忘れに注意してください。

[能動態]	S	help make see hear	O	Vb C	
[受動態]	O	be 動詞	helped made seen heard	to Vb C	(OはVするのを助けられる) (OはVさせられる) (OはVするのを見られる) (OはVする音[声]を聞かれる)

最もよく用いられるのは make の受動態で、次が see の受動態です。

S made Fred memorize ... → SはFredに暗記させた

Vt      O      C

⑤ As a child, Fred was made to memorize certain passages in the Bible.

⇒ 子供の頃・Fredはさせられた・暗記するように・特定の(複数の)節を・聖書の中の。

→ 子供の頃、Fredは聖書の中のいくつかの節を暗記させられた。

\* in the Bible は形容詞句で passages を修飾しています。

S saw the suspect leave ... → Sは容疑者が去るのを目にした

Vt O C

⑥ The suspect was seen to leave the premises on foot.

⇒ 容疑者は目にされた・去るのを・その敷地を・徒歩で。

→ 容疑者はその敷地を歩いて去るところを目撃されていた。

●● VOCABULARY

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> mayor [méiər   méə]           | 名 市長、町長                                       |
| <input type="checkbox"/> resign [rizáin]               | 動 辞める、辞任する、辞職する                               |
| <input type="checkbox"/> yet                           | 接 しかし、にもかかわらず (同 but)                         |
| <input type="checkbox"/> refuse [rifjú:z]              | 動 (…を) 拒否する、(…を) 断る                           |
| <input type="checkbox"/> watch out (for …)             | 動 (…に対して) 気をつける [警戒する]                        |
| <input type="checkbox"/> pickpocket [pikpəkit]         | 名 すり  |
| <input type="checkbox"/> thief [θi:f]                  | 名 泥棒、窃盗犯 (*例文②の thieves は複数形)                 |
| <input type="checkbox"/> vehicle [vi:ɪkl, vi:hɪkl]     | 名 乗り物、車両、(伝達などの) 手段                           |
| <input type="checkbox"/> park [pɑ:rk]                  | 動 駐車する、…を駐車する                                 |
| <input type="checkbox"/> area [éəriə]                  | 名 地域、区域、地帯、領域、面積                              |
| <input type="checkbox"/> require … to Vb<br>[rikwáíər] | 動 …にVすることを要求する [義務づける]<br>(* Lesson 50 の表を参照) |
| <input type="checkbox"/> law [lɔ:]                     | 名 法、法律  |
| <input type="checkbox"/> obey [oubéi]                  | 動 …に従う、…の言うことを聞く                              |
| <input type="checkbox"/> speed limit [límit]           | 名 制限速度  |
| <input type="checkbox"/> as a child                    | 副 子供の頃 (副 as a boy [girl] 少年 [少女] の頃)         |
| <input type="checkbox"/> memorize [méməraíz]           | 動 …を暗記する、…を記憶する                               |
| <input type="checkbox"/> certain [sɜ:rtɪn]             | 形 (明言を避けて) ある、特定の、確信している                      |
| <input type="checkbox"/> passage [pásidʒ]              | 名 (本・記事・随筆・詩などの) 一節、小節                        |
| <input type="checkbox"/> suspect                       | 名 [sʌspekt] 容疑者、被疑者 動 [səspekt] …を疑う          |
| <input type="checkbox"/> premises [prémisiz]           | 名 (建物を含めた) 土地、敷地、施設                           |
| <input type="checkbox"/> on foot                       | 副 徒歩で、歩いて                                     |

# Lesson 63

## 👉 to 不定詞を含む慣用的な受動態

前のレッスンでは、補語に「(to) 動詞の原形」をとる第5文型が「be 動詞 + 過去分詞 + **to 動詞の原形**」の受動態に変換される例を見ましたが、この形の受動態には、(第5文型からの変換とは言い難い) 次のような「慣用表現」があります。

be said to Vb	(V だと言われている)
be thought to Vb	(V だと考えられている)
be believed to Vb	(V だと信じられている)
be supposed to Vb	(V することになっている、V するはずだ)
be known to Vb	(V だということが知られている)

各表現を例文で確認しましょう（「be believed to Vb」は Lesson 64 ⑥を参照）。

### ① This painting is said to be worth millions of dollars.

⇒ この絵画は言われている・であると・の価値がある・数百万ドル。

→ この絵画は数百万ドルの値が付くとされています。

### ② Stress is thought to be the main cause of his illness.

⇒ ストレスが考えられている・であると・主な原因・彼の病気の。

→ ストレスが彼の病気の主な原因だと考えられている。

### ③ Andy, we're supposed to check out by ten.

⇒ Andy・私達はなっている・チェックアウトすることに・10時までに。

→ Andy、チェックアウトは10時よ。



④ Hank was known to have a short temper.

⇒ Hank は知られていた・持っていることが・短気を。

→ Hank は気が短いことで知られていた。

## ●● VOCABULARY

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> <b>painting</b> [peɪntɪŋ]      | <b>名</b> 絵、絵画 ( <b>動</b> <b>paint</b> …を(絵の具で)描く)                                     |
| <input type="checkbox"/> <b>worth</b> … [wɜːrθ]         | <b>形</b> …の価値がある  |
| <input type="checkbox"/> <b>millions of</b> [mɪljənz]   | <b>形</b> 数百万の ( <b>形</b> <b>hundreds of</b> 数百の<br><b>thousands of</b> 数千の *後ろの名詞を修飾) |
| <input type="checkbox"/> <b>dollar</b> [dɒlə(r) dɒlə]   | <b>名</b> ドル (*可算名詞。yen (円) は不可算名詞)  |
| <input type="checkbox"/> <b>main</b> [meɪn]             | <b>形</b> 主要な、主な、中心的な  |
| <input type="checkbox"/> <b>cause</b> [kɔːz]            | <b>名</b> 原因、要因、理念、大義 ( <b>動</b> …を引き起こす)  |
| <input type="checkbox"/> <b>illness</b> [ɪlnəs]         | <b>名</b> 病気 (の状態) ( <b>同</b> <b>sickness</b> <b>形</b> <b>ill</b> 病気で)                 |
| <input type="checkbox"/> <b>check out (of …)</b>        | <b>動</b> (<ホテル>を) チェックアウトする   |
| <input type="checkbox"/> <b>by</b>                      | <b>前</b> …までに (*期限や締め切りを表す)   |
| <input type="checkbox"/> <b>a short temper</b> [tɛmpər] | <b>名</b> 短気、怒りっぽい性質 ( <b>名</b> <b>temper</b> 気分、機嫌)                                   |

# Lesson 64

## 👉 助動詞と to 不定詞の受動態

「助動詞」や「to」の後ろの「動詞の原形」を受動態にする場合は、「be 過去分詞」にします。

まずは、「助動詞」の後ろを受動態にする場合を見てみましょう。**be** の付け忘れ（「助動詞+過去分詞」としないよう）に注意してください（Lesson 56 ①も参照）。

S can't help it → Sはそれを避けることはできない  
Vt O

### ① Ah, in that case, it can't be helped.

⇒ ああ・その場合は・それはできない・回避されることが。

→ ああ、そういうことなら仕方がないよ。

\* be の付け忘れに (It can't helped. としないように) 注意してください。

S must handle laboratory equipment → Sは実験装置を扱わねばならない  
Vt O

### ② Laboratory equipment must be handled with care.

⇒ 実験室の機器は・なければならぬ・扱われる・注意と共に。

→ 実験室の機器は慎重に取扱わなければならない。

when will you invite us → いつ君は私達を招待するの  
S Vt O  
ですか？

### ③ Betty, when will we be invited to your new house?

⇒ Betty・いつ・(今後) 私達は招待されるのですか？・君の新しい家に。

→ Betty、いつ我々を新居に招待してくれるんだい？

\* これは we will be invited の will が先頭に出た疑問文です。

次は、「to」の後ろを受動態にする場合です。ここでも、**be** の付け忘れ（「to+過去分詞」としないよう）に注意してください（Lesson 60 ⑤も参照）。

S have to return these books

→ Sはこれらの本を返却しなければならない

Vt O

④ These books have to be returned within two weeks.

- ⇒ これらの本は・なければならぬ・返却される・2週間以内に。  
 → これらの本は2週間以内に返却しなければなりません。

fat and sugar used to fill Fred's diet

→ 脂肪と糖類がかつてFredの食事を満たしていた

S Vt O

⑤ Fred's diet used to be filled with fat and sugar.

- ⇒ Fredの飲食物は・かつてはだった・満たされている・脂肪と糖類で。  
 → かつてFredの食生活は脂肪と糖分だけであった。

genetic factors are believed to influence intelligence

→ 遺伝的な要因が知能に影響すると考えられている

S Vt O

⑥ Intelligence is believed to be influenced by genetic factors.

- ⇒ 知能は考えられている・影響されると・遺伝的な要因によって。  
 → 知能は遺伝的な要因に影響を受けると考えられている。

●● VOCABULARY

**ah** [á:]

**in that case** [kéis]

**can't help** …

**laboratory**  
[ləbərətəri | labóratori]

**equipment** [ikwípment]

**handle** [háendl]

**with care** [kéər]

**間** ああ (\*同意や感情の発露を表す)

**副** その場合は、そういうことなら

**慣** …を抑止できない、…を避けられない (\*このhelpは「…を抑止[回避]する」という意味)

**名** 実験室、実習室、研究所、研究室 **形** 実験室の、研究所の (**同** ((口語)) **lab** [læb])

**名** ((不可算)) 器具、機器、機材、装備

**動** …を(手で)扱う、…を担当する、…に対処する

**副** 注意して、気をつけて

- **invite** … (to ~) [inváit] 動 …を(～に)招待する (名 invitation 招待)
- **return** [ritʃɜ:n] 動 …を返却[返品]する、戻る、帰る
- **within** 時間 副 <時間>以内に (\*「in + 時間」(<時間>後に)との違いに注意)
- **diet** [daíət] 名 (日常の) 飲食物、食習慣、ダイエット
- **used to Vb** [ju:st tu] 動 かつてはVであった (\*否定形「かつてはVでなかった」は「didn't use to Vb」)
- **be filled with** … [fild] 動 …に満ちている、…で一杯である
- **fat** [fæt] 名 脂肪、脂質、贅肉 形 太った
- **sugar** [ʃúgə] 名 砂糖、糖類
- **intelligence** [intélidʒəns] 名 知能、知力、機密情報、諜報
- **be believed to Vb** [bili:vd] 動 Vだと考えられている
- **influence** [influəns] 動 …に影響する 名 影響、影響力
- **genetic** [dʒənetik] 形 遺伝的な、遺伝子の (名 gene [dʒi:n] 遺伝子)
- **factor** [fæktə] 名 要素、要因、因子

## 例文に登場する主なキャラクター (15)



Fred (Frederick)

Betty の夫。穏和な性格の弁護士。犬をこよなく愛す。一時期ジャンクフードの食べ過ぎで肥満に。

# Lesson 65

## 👉 受動態の進行形と完了形

最後は、「現在 [過去] 進行形」と「現在 [過去] 完了形」の受動態です。

「現在進行形」と「過去進行形」の受動態は次のようになります。

S	is am are	being Vp.p.	(SはVされている最中である)
---	-----------------	-------------	-----------------

S	was were	being Vp.p.	(SはVされている最中だった)
---	-------------	-------------	-----------------

「現在完了形」と「過去完了形」の受動態は次のようになります。

S	have has	been Vp.p.	(SはVされてしまっている [され終えている、されたことがある、etc.])
---	-------------	------------	--

S	had	been Vp.p.	(SはVされてしまっていた [され終えていた、されたことがあった、etc.])
---	-----	------------	---

例文で確認しましょう。下線部の進行形(①②)と完了形(③④)に注意してください。

### ① "Can't you come?" "No, my car is being repaired."

⇒ 「できないの? ・君は・来ることが」「いや・私の車は修理されているところだ」

→ 「君は来られないのかい?」「うん、今、車を修理に出してるから」

\* 返答の No は No, I can't. ということです (Lesson 14 ⑤の後の解説)。

### ② No progress was being made in the negotiations.

⇒ 無の進展が遂げられているころだった・(その複数の) 交渉の中で。

→ 交渉は全く進展が見られない状況だった。

### ③ Don't worry about it. It's been taken care of.

⇒ 心配しないで・それについて。それは対処されてしまっている。

→ その件についてはご心配なく。既に対応済みです。

\* It's の 's は has の短縮形です。

#### ④ Bill had been seen as a likely successor to Hank.

⇒ Bill は(その時まで)ずっと見なされていた・として・可能性が高い後継者・Hank の。

→ Bill はそれまでずっと Hank の有力な後継者と目されていた。

#### ●● NOTE 「目的語+補語」が受身の意味になる表現

第5文型の「S + have [get] + O + Vp.p.」は通常「SはOをVされるようにしてもらう[させる]」という「使役」の意味で用いますが (Lesson 47 の表と⑦)、「SはOをVされる」という「受身」の意味で用いることもあります。受身の場合は、過去分詞 (Vp.p.) を stolen (盗まれる) や broken (折られる) のような「悪い経験」を表すことばにして、使役との混同を避けるようにします。

#### ⑤ Mike got hit by a bike and had his arm broken.

⇒ Mike はぶつかられた・自転車によって・そして・経験した・彼の腕が・折られるのを。

→ Mike は自転車にぶつかられて、腕を骨折した。

\* and の後を his arm was broken としてもかまいませんが、had [got] his arm broken として主語を揃えた方がスムーズな英文になります (Lesson 55 ⑤の前の説明)。

#### ●● VOCABULARY

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> <b>repair</b> [riˈpeə]                 | <input type="checkbox"/> 動 …を修理する <input type="checkbox"/> 名 修理、修繕 (同 <b>fix</b> )                         |
| <input type="checkbox"/> <b>progress</b> [ˈprɒɡres prəʊ-]       | <input type="checkbox"/> 名 進歩、進展、前進 (動 <b>make progress</b> 進歩 [進展、前進] する)                                 |
| <input type="checkbox"/> <b>negotiation</b><br>[niˈɡəʊʃieɪʃən]  | <input type="checkbox"/> 名 交渉、談判 (動 <b>negotiate</b> [niˈɡəʊʃieɪt] (…の) 交渉をする * 合意への過程で複数の会合を重ねる交渉は複数形にする) |
| <input type="checkbox"/> <b>worry</b> (about …)<br>[wəˈri wəri] | <input type="checkbox"/> 動 (…について) 心配する [気をもむ]   |
| <input type="checkbox"/> <b>take care of</b> … [keə]            | <input type="checkbox"/> 動 …に対処 [対応] する、…を処理する   |
| <input type="checkbox"/> <b>see … as ~</b>                      | <input type="checkbox"/> 動 …を〜と見なす (同 <b>regard … as ~</b> [riˈɡɑːrd], <b>think of … as ~</b> )            |

□ **likely** [laikli]

□ **successor (to ...)**

[saksésər]

□ **get Vp.p.**

□ **bike** [baik]

□ **have ... Vp.p.**

□ **arm** [ɑ:m]

□ **break** [bréik]

□ **形** 可能性が高い、起こりそうな、有力な

(□ **unlikely** 可能性が低い、ありそうもない)

□ **名** (...の) 後継者 [継承者、後任者、相続人]

(□ **succeed to ...** ...の後を継ぐ)

□ **動** Vされる (\* Lesson 59 ①②)

□ **名** 自転車 (\* くだけた表現では「バイク」  
(motorcycle, motorbike) の意味でも用いる)

□ **動** (1) ((使役)) ...をVされるように (人に) して  
もらう [させる]、(2) ((受身)) ...をVされる  
(\*この表現は原則として(1)の意味で用いる)

□ **名** 腕、手 (\*通常、肩 (**shoulder** [ʃouldər]) から  
手首 (**wrist** [rist]) までを指すが、手首より先  
(**hand** [hænd]) を含むこともある。

□ **名** **leg** [leg] 脚 **ankle** [æŋkl] 足首 **thigh** [θai]  
太もも **foot** [fút] 足 **knee** [ni:] 膝)

□ **動** ...を壊す [割る、折る、破る]、壊れる [割れる、  
折れる] □ **名** 中断、途切れ、休み、休憩

### 例文に登場する主なキャラクター (16)



**Bill (William)**

Hank の息子。Hank の後を継いで Evans 社の社長に就任するが、業績悪化と健康上の理由で退任。趣味は株式投資。

# Chapter 7

**単語・熟語数：185**

**文法のテーマ：to 不定詞**

「to 不定詞」とは「to 動詞の原形」のことです。to 不定詞は、動詞(句)を「名詞句」「形容詞句」「副詞句」に変えたもので、それぞれ、名詞用法、形容詞用法、副詞用法と呼びます。

「名詞用法」は動詞の目的語、be 動詞の補語、主語など、名詞が置かれる場所で用いられます。「形容詞用法」は前に置かれた名詞を修飾します。「副詞用法」は文末、文頭、文中で用いられ、名詞以外の語(=動詞、形容詞、副詞)や文を修飾します。

\* このChapterではto 不定詞を「to 動詞の原形」もしくは「to Vb」と表記します。